

一つのブリスベン たくさんの文化

第18版:2018年12月~2019年2月



この休暇シーズン中は見物・体験することがたくさん

カウンシルでは、今年の休暇シーズン中、マウントクーサで見物すること、体験できることをより充実させ、皆さんのブリスベンでのライフスタイル向上に努めています！

晴れた日を存分に活かし、ブリスベン植物園マウントクーサを探索し、マウンテンバイクに乗る、あるいは森の道を散策して過ごされてはいかがでしょう。ピクニック場にも行ってみたい、またはサミット・アウトトラックで食べるアイスクリームは行くだけの価値があり、息を呑むほどの美しい景色をご覧ください。

サー・トーマス・ブリスベン・プラネタリウムを訪れて、銀河を横切る宇宙の冒険に乗り出すこともできます。コスミック・スカイドームの席に仰向けになって天井を見上げると、ガイド付きの太陽系横断「宇宙飛行」ができ、ショーに続いて展示を見て回ると、天文学と宇宙探検について一層楽しいことを学ぶことができます。

遊びの場をお求めの方も、費用のかからない催し、イベント、フェスティバルやマーケットをお探しの方も、カウンシルのウェブサイトアクセスすると休日のアイデアが満載できます。 brisbane.qld.gov.au をご覧ください。

グラハム・クワーク市長からのメッセージ

キング・ジョージ・スクエアのクリスマスツリーの光が、この活気あふれる都市にて行われる無料のフェスティバルを楽しむ一ヶ月の始まりを告げています。

いつも家族に人気である壮観なシティホール・ライツは、12月7~24日の間シティホールをライトアップし、またDavid Jones主催のクリスマス・パレードはクイーンズ・ストリートモールまでの道を練り歩く予定です（12月14~23日）。

年齢に関係なく楽しめるエンチャンテッド・ガーデンがローマ・ストリート・パークランドに戻り（12月7~19日）、サウスバンクではクリスマス・ギフト・マーケットや野外クリスマス・シネマなど、様々な催しが開かれます（12月14日~23日）。

12月8日（土）にはブーンダルのモルビーム・パークのサウス・パシフィック・アイランダー・コミュニティのクリスマスが行われ、また12月9日（日）にはCBDにてユダヤ教の光のフェスティバルであるハヌカを祝われてはいかがでしょう。本版では春節のお祭りなど、さらに多くのイベントが紹介されています。

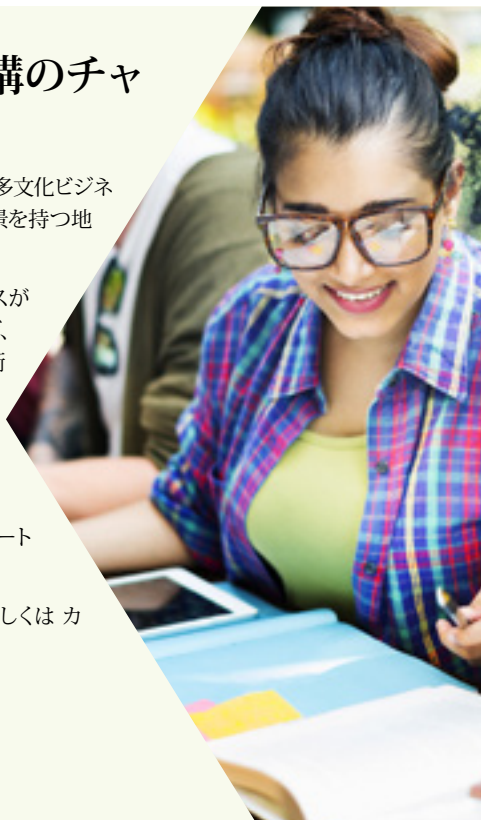
ビジネス奨学金と教育指導受講のチャンスです。ご応募ください。

ビジネスを始めたり、成長させたいとお考えですか？市長の多文化ビジネス奨学金および指導計画では、文化的、言語的に多彩な背景を持つ地元の事業家を支援するため、50以上の席を用意しています。

奨学金にはCertificate IVから大学院コースまでの訓練コースが含まれ、熱意のあるビジネスオーナーによる事業の立ち上げ、あるいは始めたばかりの事業育成に必要な知識、自信、技術を提供しています。この定時制コースの大部分は3~12ヶ月にわたり開かれ、開始は2019年7月となっています。

指導計画は受講者と地元の経験豊かな指導者を結びつけるものです。指導者はペアを組み、毎月少グループの受講者のためのワークショップを開催、また電話やメールでのサポートも提供しています。

応募開始は1月14日（月）、締め切りは4月12日（金）です。詳しくはカウンシルのウェブサイトをご覧ください。



Dedicated to a better Brisbane

2019年、BrisAsiaが戻ってきます

アジアの現代芸術、伝統芸術と文化を祝いましょう。アクションいっぱい
で楽しい、食べ物、催し、彩りのある23日間、2月9日から3月3日まで開
かれます！

BrisAsiaフェスティバル2019の出し物は、エキサイティングなライ
フスタイルと娯楽が満載です。年齢に関係なくお楽しみいただ
けます。今年、サウス・バンクでは大きなアジア・ポップカルチ
ャー夏のパーティーがあり、またサニーバンクとイナラの食の
イベントで、舌鼓を打つことができます。

BrisAsiaは家族全員で、さまざまアジアの芸術、文化的イベン
ト、プログラムや取り組みを通じてブリスベンの多様性を祝うこ
とのできる素晴らしいチャンスです。

イベントやアクティビティの完全な日程は1月からカウンシルのウェブ
サイトにてご覧いただけます。



開催行事

12月8日—市長のクリスマス・キャロ
ル—市立植物園、リバーステージ、午後4
～9時、brisbane.qld.gov.auをご覧ください。

12月8日—パークでサウス・パシフィック・
アイランダー・クリスマス—ブーンダル、モ
ルビーム・パーク、午前10時～午後5時、
brisbane.qld.gov.auをご覧ください。

12月9日—当市ハヌカ—ブリスベン、CBD、
レダクリフ・プレース、午後4時～8時
chabadchristmas.comをご覧ください

12月16日—パロール・フェスティバル sa
ブリスベン—サニーバンク、サンPAC、午
前11時～午後5時 eventbrite.com.auを
ご覧ください

12月27日～1月6日—ポーランド視覚芸術
と芸能フェスティバル—ブリスベンのい
ろいろの会場で開催
polart2018.com.auをご覧ください

12月30日～1月6日—ブリスベン・
インターナショナル—テニソン、
クイーンズランド・テニスセンター
brisbaneinternational.com.auをご覧
ください

1月11日&18日—市長の子供コンサー
ト—サニーバンク、サンPAC 開催時間
はいろいろです brisbane.qld.gov.auを
ご覧ください

1月24日～28日—ブリスベン・ドメイン・
デイ・ナイト・テスト：オーストラリア vs
スリランカ—ブリスベン・クリケット・グラウ
ンド、午後1時 premier.ticketek.com.au
をご覧ください

ブリスベン最新のレジャー地

ストーリー・ブリッジの下にありますハード・スミス・ウォープズは、間もなく私た
ちの都市における新しい娯楽とライフスタイルの目的地となります。

何十年も放置されたこの土地に、カウンシルは徹底した評価を行い、その
3.43ヘクタールの地を活気あるリバーフロント地区に変容させる手続きを
開始し、2016年には1億1千万ドルにおよぶ再生事業の入札に成功したこ
とを発表しました。

現在から2019年初頭の間において段階的にオープン予定のハード
・スミス・ウォープズの特徴は、パークランドや野外劇場などの
新たな公共空間、風光明媚な川辺の3つの新設レストラン (GRECA、
トコ・ブリスベン、スタンリー・レストラン&バー) という食事処、また
景色と飲み物を楽しめる場所 (フェロンズ・ブリューイング社とMrパー
シバルズ、水上バー) があります。

この川辺の立地のおかげでハード・スミス・ウォープズは公共交通機関で行
き来が可能であり、2020年には新しいフェリー発着所がこの場所に開設予定で
す。また新しいエレベーターがポーエン・テラスとウィルソン・アウトロック・リザー
ブに設置され、崖の頂上からもアクセス可能です。



春節おめでとございま す！

チャイナタウン・モールは2月9日(土)と10日(日)
は赤と金色に彩られ、春節を迎えます。この2日間
に渡るお祝いにご参加ください。獅子と龍の踊り
を見物し、マーケットの屋台を歩いて回り、素晴らしい
ご馳走をお楽しみください。参加者交流型のワーク
ショップや様々なアジアの国々からの音楽演奏もあ
り、この都市の文化的多様性を反映することになり
ます。 myvalley.com.auをご覧ください。

助成金で芸術制作、芸術 作品監督

芸術家、美術品作業員、芸術制作者、歴史愛好家
の方々それぞれ20,000ドルまでの各種助成金
に応募できます。創造のひらめき助成金プログラ
ムと市長の若手新進芸術家フェローシップは1月
29日が締切です。また、ブリスベン歴史助成金と
イノベーション助成金プログラムは2月4日が締切
です。当カウンシルのウェブサイト「grants」を
検索ください。

ダイアリー・ノー ト：2019APCS

2019アジア太平洋都市サミット
(2019APCS)およびブリスベンの市長フォー
ラムに登録し、1500名以上の企業や政府の
指導者とともにご参加ください。7月7日～10
日。2019APCSは地元、そして国境を超えた
関係作りを行い、事業を発展させる絶好の
場所です。 apcsummit.orgから今すぐご登
録ください

Brisbane City Council
GPO Box 1434, Brisbane Qld 4001



brisbane
australia's new world city

NEWSLETTER SIGN-UP

印刷時、情報が正確であるように万全を期して
います

brisbane.qld.gov.au
3403 8888

[/BrisbaneCityCouncil](https://www.facebook.com/BrisbaneCityCouncil)
[@brisbanecityqld](https://twitter.com/brisbanecityqld)
[@brisbanecitycouncil](https://www.instagram.com/brisbanecitycouncil)

CA18-24878-08-3825
© Brisbane City Council 2018